

鳥根県立農林大学校

農業科 短期養成コース

令和5年度入学生募集！



農業科 短期養成コースの特徴

1

農業経営者に必要な知識・技術が短期間で身につく

2

卒業後の就農ビジョンをもって入学するので、
移住～研修～就農までのプランが明確！

3

入学生に応じたカスタム型のカリキュラム

農業科 短期養成コースのカリキュラム

①基礎講義

農林大学校農業科の共通講義・専攻別講義の受講により、農業の基礎的な知識を習得

②特別集中講義

全国から第一線で活躍している講師を招き、農業経営者として必要な専門知識を学ぶ

③農業実習

教員の指導のもと、一人一人が受け持つ学校実習ほ場で模擬経営を実践

④資格・免許取得

講義と実習で農業に必要な資格・免許の取得をサポート。（受験費等は自己負担）

⑤就農予定地研修

就農予定地の先進農家（師匠）での実践研修等により卒業後の円滑な就農に向けた準備を支援

基礎講義	共通講義	・作物概論・植物生理・土壌肥料 ・園芸施設・農業経営・野生鳥獣被害対策 ・農業気象・作物保護・農業組織論 など
	専攻別講義	・野菜園芸各論・有機農業学 などの専攻に応じた専門講義
特別集中講義	農業新技術	・農業ICT・農業先進技術
	マーケティング・流通	・マーケティング・消費者心理と行動 ・農産物等食品流通・企画提案実務 ・6次産業化事例研究 など
	会計・ファイナンス	・農業簿記・農業経営診断と会計管理 ・経営の法学 など
	マネジメント	・農業リスク論・労務管理・GAP論 ・コーチング論・情報収集と管理 など
農業実習	栽培管理	水田や畑、ハウス1棟を管理し、生産から販売までを自己責任の下で行う模擬経営を実践
	農業機械	トラクター、フォークリフト等の農業機械の操縦技能とメンテナンス技能の習得
資格免許		【取得可能免許・資格例】 大型特殊免許、フォークリフト運転技能者、狩猟免許（わな猟免許）、車両系建設機械運転技能者、毒物劇物取扱者、危険物取扱者、けん引免許等
就農予定地研修		・就農予定地の先進農家での実践研修 ・市町村・JA・普及部との就農に向けた打ち合わせ（就農推進会議）等
その他		・先進農家等視察・各種研修会への参加 ・パイプハウス建設実習 ・農林大学校主催発表会への参加 等

学生相手にも分かりやすい講義がされており、農業初心者でも安心して学ぶことができます。



※講義イメージ

各専攻ごとに、長年ノウハウを培った専攻担当教員が在籍し、学生へ丁寧・親身に栽培技術の指導をしています。



※実習イメージ

自営就農までは、「農地の確保」から「農業機械や農業施設の整備」「就農計画の作成」など準備すべきことが多岐にわたります。

農林大学校では、自営就農に向けた準備を、関係機関と連携しサポートします。

2

卒業後の就農ビジョンをもって入学するので、移住～研修～就農までのプランが明確！

農業科 短期養成コースでは、「卒業後に県内で就農見込みの方」向けの自営就農を目標として研修・技術習得を行います。そのため、入学前に県内市町村と相談の上、就農予定地を決め「就農ビジョン」をもっといただくことを推奨しています。

就農予定地の検討は、各市町村が作成している「就農パッケージ」を参考に進めることができます。島根県では、研修内容・農地・住居・販路・経営モデル等をひとまとめた「就農パッケージ」を用意し、就農準備や住居の不安なく就農できる体制が整っています。

「就農パッケージ」を活用した就農までのイメージ



○県内各市町村の就農パッケージでの就農モデル（一例）

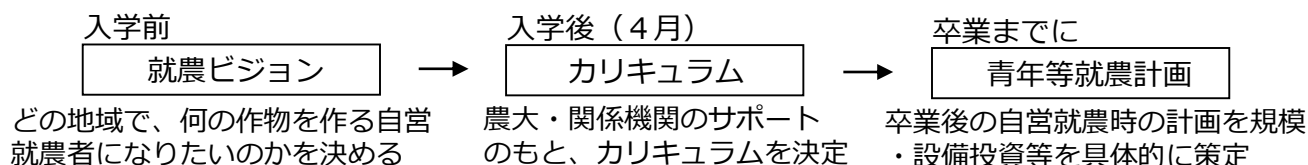
浜田市	施設野菜（有機葉物野菜）
	ぶどう
江津市	施設野菜（有機葉物野菜）



3

入学生に応じたカスタム型のカリキュラム

農業科 短期養成コースでは、自身の就農ビジョンに合わせて、必要なカリキュラムを自由に選択することができます。一人一人にあったオリジナルカリキュラムで就農に必要な知識・技術を習得します。



Aさんに合った年間カリキュラムを提案

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎講義＋特別集中講義											
農業実習											
		●		●		●					
この間に就農準備											

●：短期（半月～1ヶ月程度）の就農予定地研修 ※随時、資格免許を取得

Bさんに合った年間カリキュラムを提案

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎講義＋特別集中講義											
農業実習											
この間に資格免許・就農準備											
就農予定地研修											

Aさんの場合
・農業未経験
・前職はサラリーマン
↓
農業を座学・実習ともに、基礎からしっかり学びたい

Bさんの場合
・週末農業の経験有り
・妻子3人での移住
↓
長期間の就農予定地での研修で、生きた技術を学びたい。

Step1 新規就農の相談

研修課程の詳細や農林大学校で学ぶことができる作型など、入学を考えられる際は、一度学校説明をお聞きください。
都市圏で開催される就農相談イベントに農林大学校や島根県がブースを出展していますのでご相談下さい。もしくは、下記問合せ先へ御連絡ください。

Step2 就農予定地を決定

県内市町村との協議や、実際に島根を来訪する農業体験をとおして、受入先となる就農予定地を決定します。
* 島根県では現地訪問への助成事業があります。

Step3 入学試験

区分	試験日
一般入学試験（前期）	R 3 年 2/16(火)
一般入学試験（後期）	R 3 年 3/22(月)
地域推薦入学試験	出願後随時実施

短期養成コースに係る経費

(1) 学費

区分	金額
入学検定料	2,200 円/年
入学料	5,650 円/年
授業料	118,800 円/年
教材費	30,000 円/年
計	156,650 円/年

(2) 寄宿舎使用料・食費（希望者）

区分		金額
寄宿舎使用料	清友寮（男子）	7,000 円/月
	友波寮（女子）	11,000 円/月
寄宿舎光熱水費		実費
備品積立金		6,000 円/年
食費（学生食堂）		朝:280円 昼・夕:430円

※授業料・寄宿舎使用料は、減免制度があります。
※農林大学校奨学金制度（20,000円/月）があります。
※国事業の農業次世代人材投資事業（150万円/年）の対象になります。

(3) 資格免許取得経費(一例)

区分	費用	備考
大型特殊自動車運転免許	76,900 円	検定料含む
狩猟免許試験（わな猟免許）	3,900 円	テキスト代含む
ボイラー取扱技能講習	16,143 円	テキスト代含む
危険物取扱者試験（乙4種）	7,500 円	試験料4,600円＋交付手数料2,900円
毒劇物取扱者試験	19,200 円	テキスト代含む
車両系建設機械運転技能講習	16,275 円	受講料、テキスト代を含む
けん引免許（農耕車限定）	4,650 円	免許交付料含む

お問い合わせ先

・ 農業科 短期養成コースについて
島根県立農林大学校

住 所：島根県大田市波根町970-1
T E L：0854-85-7012

・ 島根県での新規就農一般について
（公財）しまね農業振興公社

住 所：島根県松江市黒田町432-1
T E L：0852-20-2872